

# 水俣病予知に手掛り

## 頭髮の水銀量で

### 熊大 近く現地で一斉調査

熊大医学部公衆衛生教室では、人間の頭髮の水銀量を分析することによって水俣病を予知する手がかりをつかんだ。このため県衛生部では近く水俣湾沿岸の危険地区の住民の頭髮を集め、その分析を熊大に依頼することになった。

熊大公衆衛生教室（喜田村教授）では、かねて水俣病患者の頭髮を分析していたが、発病して間もない患者ほど水銀量が多く、最高七七〇PPM（PPMは百万分の一を占めていることが判った。そこで水俣市内の健康な漁師の毛髪を分析したところ二〇〇から一五〇PPM、極端なものは一九〇PPMあることをつきとめた。これに対して熊本市内の美容院で集めた一般人の毛髪は二ないし三PPMしかなく、水銀をいつも抜っている研究員の場合でさえ四PPMと少ない。

このような結果について同教室では水俣の漁師は現在でも湾内の魚を獲って食べていることを裏付けるものであり、今後の指導にとって重要な材料だといっている。また毛髪の水銀量とど

の程度になれば危険かについて、喜田村教授は「個人差があるのではっきりしたことはいえない」といっているが、頭髮の水銀量が増えれば、発病の危険は当然大きいわけである。

なお毛髪中の水銀の分析法は毛髪五ヶ程度を硫酸としよう酸でとか

◇喜田村教授の話 毛髪をやると比較的簡単に抽出できる最初尿を使ってみ



の方がよく出る。これで水俣湾の魚を食べているかどうかはつきりするわけで、水銀の多い人は発病の可能性は大きい。今後魚を食べないようとの指導

し、ジチソンという薬で抽出するもので、分析は二百もあれば済むので、県衛生部では早急に厚生省に対して本年度の予算補正に研究費を計上してもらい、危険地区住民の検診に乗り出す方針をきめた。

の資料にはなと思う。

◇浜崎熊本県衛生部長の話 検査が比較的簡単にできるよつたから、県で患者発生地域のいつせいの検診をしたい。経費がどれくらい必要かいま検討している。最近では危険海域での密漁が多く、今後患者が相当発生するのではないかと心配している。ドベに含まれる水銀の微粒子は潮流に乗って浮遊し、新日鐵工

場に設備された浄化装置も水に溶けた水銀まで吸収できるかどうか疑問視する学者もいる。